

## 「県民協働による事業改善」意見・提案と対応状況 [予算要求時点]

事業名	信州パーソナル・サポート事業
担当部課室名	健康福祉部 地域福祉課

### 【課題】

支援が必要な生活困窮者であっても、①社会から孤立していて情報にアクセスすることが困難、②相談することに対して心理的な抵抗感がある、③日々の生活が多忙、④自尊感情の低下などの理由から、自ら「まいさぽ」等の相談機関に相談しない者が多く、こうした者に対し必要な支援を行っていくことが必要

### 【意見交換の論点①】

支援が必要であるにもかかわらず支援に繋がらっていない生活困窮者について、早期に把握し、確実な支援を行うためにはどのような方法等が考えられるか、ご意見をいただきたい。

## 1 要支援者の把握

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
1	地域住民のネットワーク(口コミ情報)などにより把握する。	民生委員に対しては、県社協を通じて「まいさぽ」の制度周知等を行っていますが、地区自治会等に対しても制度理解が図られるよう、更に地区社協や市町村との連携を深めてまいります。
2	就業支援員や民生委員と協力体制を作る。	これまででも民生委員との連携を図ってきたところですが、「就業支援員」をはじめとした関係者(関係機関)との連携を強化してまいります。
3	「まいサポ」の存在や役割についての広報活動、FM、移動図書館車、ポスターの掲示等	地域に「まいさぽ」の存在を認知していただけるよう、様々な媒体の活用を図るとともに、住民が集う場所(コンビニ等)でのポスター掲出等について取り組んでまいります。  信州パーソナル・サポート事業<172,228千円>

## 2 相談体制の充実等

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
4	様々な情報ネットワークを作り、アウトリーチを強化する。「アウトリーチパートナー連絡会」の設置	法改正により、福祉事務所設置自治体が設置できるとされている「支援会議」において、関係機関との情報共有を行ってまいります。  信州パーソナル・サポート事業<172,228千円>
5	医療、司法、福祉等の相談を1か所で行うことができる機会を設ける。	これまで法テラス等と連携を図り、司法と福祉の相談を1か所で行う相談会を各圏域で行なってきましたが、これに合わせて医療の相談も行なうことができるよう関係課と連携を図ってまいります。
6	社会福祉法人による連絡会を結成し、相談に対応するようにする。	これまで長野県社会福祉協議会から各法人に対して、法人連絡会の結成について周知を行っているところですが、県としても、法人連絡会の結成も含め、各法人において地域における公益的な取組が促進されるよう、府内関係課との連携に取り組んでまいります。  官民協働「長野県あんしん未来創造センター」事業<29,452千円>

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
7	夜間、休暇窓口を設置する。	「まいさぽ」では、これまで依頼があれば、夜間や休日でも、自宅等を訪問し相談を受けているところです。引き続き、依頼者のニーズに応じた相談支援に取り組んでまいります。
8	低所得労働者の労働相談、キャリア相談を充実する。	相談者の幅広い相談ニーズに対応できるよう、職員の資質向上のための研修の実施に取り組んでまいります。 信州パーソナル・サポート事業<172,228千円>
9	短時間労働者のダブルワーク等や起業に関する相談を実施する。	相談者の幅広い相談ニーズに対応できるよう、職員の資質向上のための研修の実施に取り組んでまいります。 信州パーソナル・サポート事業<172,228千円>

### 3 専門家等の事業への参画

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
10	「コミュニティソーシャルワーカー」という職を設置したらどうか。	現在策定中の「長野県地域福祉支援計画」との整合性を図るため、社会福祉士等の専門職の活用により、福祉の地域づくりに取り組んでまいります。 地域共生社会推進事業<10,162千円>
11	事業にシニア層のボランティアとしての参画を求めたらどうか。	既に「子どもの学習支援事業」における学習支援協力員としてシニアの方々のお力添えをいただいており、引き続き、関係課及び関係機関と連携を図り、様々な面で協力を求めてまいります。 信州パーソナル・サポート事業<172,228千円>
12	専門家を活用する取組が必要ではないか。	現在策定中の「長野県地域福祉支援計画」との整合性を図るため、社会福祉士等の専門職の活用により、福祉の地域づくりに取り組んでまいります。 地域共生社会推進事業<10,162千円>
13	自尊心の低下と相談への心理的抵抗感の緩和のための啓発を行う。	既存のチラシ等の内容を再度精査し、県民のみなさまが身边に「まいさぽ」を感じられるように取り組んでまいります。 信州パーソナル・サポート事業<172,228千円>
14	個別ケース対応に上限を設け、マクロ的な課題に対する支援を行い、そのため社会保険労務士、キャリアコンサルタントなどの参画を求める。	「まいさぽ」の職員の資質向上が図られるよう、研修の実践に努めるとともに、様々な有資格者との連携に取り組んでまいります。

### 4 その他

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
15	生活保護は恥であるとのイメージを払拭することが必要	「生活困窮」という文言を前面に打ち出すのではなく、「まいさぽ」に親しみを感じ、相談をしやすくなるような啓発物(チラシ)の作成に取り組んでまいります。 信州パーソナル・サポート事業<172,228千円>

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
16	法の対象者が明確ではなく、ある程度の具体像を描く必要があるのではないか。	法の対象者を具体的に描くのは困難ですが、長野県社会福祉協議会と連携を図り、民生委員を通し、地域において「おそれのある者」の把握に取り組んでまいります。
17	成果指標を「就労・增收」のみでなく、多様な生活支援を目標化する。	国が着手している「ステップアップ率」の活用を検討するとともに、支援事例を積み上げ、それを関係機関と情報共有する中で多様な生活支援に努めてまいります。  信州パーソナル・サポート事業<172,228千円>

## 「県民協働による事業改善」意見・提案と対応状況 [予算要求時点]

事業名	信州パーソナル・サポート事業
担当部課室名	健康福祉部 地域福祉課

### 【課題】

生活困窮者が自立するためには、地域におけるその者の居場所や社会との繋がりなどが必要であり、地域住民の「生活困窮」への理解が重要であるが、その促進がなされているとは言い難い。

### 【意見交換の論点②】

地域住民に生活困窮問題を理解していただくためにはどのような方法が考えられるか、ご意見をいただきたい。

## 1 啓発方法

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
1	「まいさぽ」のホームページを統一する。	「まいさぽ」の実施主体には市もあることから、市の意向も確認し、可能な部分については、統一が図られるよう対応してまいります。  信州パーソナル・サポート事業<172,228千円>
2	ロゴの共通化、「暮らしと仕事の相談室～まいさぽ」とするなど、「まいさぽ」をやわらかく紹介するよう工夫する。	御提案の趣旨を踏まえ、市の意向も確認し、ロゴマークの作成など、「まいさぽ」が県民の皆様に身近に感じられる取組を検討してまいります。  信州パーソナル・サポート事業<172,228千円>
3	SNS、インターネット広告の活用	御提案の趣旨を踏まえ、「まいさぽ」が幅広い世代の方々に認知されるよう、様々な媒体の活用を検討してまいります。
4	自治会・民生委員等へのアプローチ、「まいさぽ」の会議に地域住民の参加、小中学校での総合学習、掲示板、回覧板の活用などで啓発	・地域住民の皆さんに制度の周知・理解が促進されるよう、自治会・民生委員等への負担感に留意しつつ連携を深めてまいります。 ・小中学校における啓発については、児童生徒にとってデリケートな部分もあるため、市町村教育委員会等と確認しながら適切に進めてまいります。

## 2 啓発内容等

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
5	成功事例を紹介する。	引き続き、「まいさぽ」が行ってきた支援事例集等を作成し、関係機関との情報共有に努めてまいります。  信州パーソナル・サポート事業<172,228千円>
6	地域住民キーパーソンへ生活困窮の気づきのポイントを教える、地域づくりの担い手に当事者を積極的に紹介する。	実施主体には市もあることから、市とも情報共有を図りながら、「まいさぽ」が地域において積極的に働きかけができるよう支援してまいります。  信州パーソナル・サポート事業<172,228千円>
7	地区公民館、集会所等における相談会の実施	実施主体には市もあることから、市とも情報共有を図りながら、「まいさぽ」が地域において積極的に働きかけができるよう支援してまいります。  信州パーソナル・サポート事業<172,228千円>

	<b>意見・提案の要旨</b>	<b>意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応</b>
8	自治会と協働して全戸訪問を行う。	<p>実施主体には市もあることから、市とも情報共有を図りながら、「まいさぽ」が地域において積極的に働きかけができるよう支援してまいります。</p> <p>信州パーソナル・サポート事業&lt;172,228千円&gt;</p>

### 3 その他

	<b>意見・提案の要旨</b>	<b>意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応</b>
9	ソーシャルワーカーの各自治体への配置	<p>現在策定中の「長野県地域福祉支援計画」との整合性を図るため、社会福祉士等の専門職の活用により、福祉の地域づくりに取り組んでまいります。</p> <p>地域共生社会推進事業&lt;10,162千円&gt;</p>